

アンケート調査へのご協力をお願い

2020年11月

日本学術振興会 学術システム研究センター

医歯薬学専門調査班

主任研究員・大場雄介

(北海道大学大学院医学研究院・教授)

「コロナ禍がもたらす医歯薬学分野研究者の『基礎医学研究』に対する意識変容」

このたび、日本学術振興会学術システム研究センターにて上記の調査を実施する運びとなりました。以下に、本調査の概要についてご説明いたします。説明文をお読みいただき、本調査研究にご協力いただけますと幸いです（締切は2021年1月12日です）。

ご協力くださった方には、**抽選で100名様にamazonギフトカード(2,500円分)を謝礼として送付**いたします。なお、**ご回答はお一人1回のみ**でお願いいたします。

1. 本調査の背景・目的・意義

我が国では研究力向上を目指すための「基礎研究」の重要性がうたわれてきています。政府はもちろん市民からもその重要性が認識されつつ一方で、コロナ禍以降はいわゆる「すぐ役立つ医学研究」に期待が寄せられているのも事実です。また、科学者の社会への説明責任が求められる局面も増えています。

本研究では、基礎医学研究が社会に対してどのような価値を提供し、課題解決を行うことができるか、研究者自身はそれらをどのように捉えているのかについて、コロナ禍前後での変容を明らかにすることを目的としています。

この調査で得られ分析される結果は、コロナ禍以後の基礎医学研究の方向性について、政府や国民と基礎医学研究者との共通認識の醸成を図る上で重要な参考資料になると考えます。

2. 調査方法

下記、アンケート用のウェブサイトにアクセスいただき、ご回答をお願いいたします。

<https://rsch.jp/19a387527dcd31bf/login.php>

回答締切：2021年1月12日

3. プライバシーの保護

ご協力いただいた方の個人情報は厳重に管理し、漏洩しないよう最大限の努力を致します。また、本調査の結果は個人情報を含まない形で国内外の論文や学会などで発表することがあります。

4. 権利の保護

本調査にご協力いただけるかどうかは自由意志でお決めください。

この調査にご協力いただかない場合でも、先生方に不利益が生じることは一切ありません。

以上、本調査の概要についてご説明いたしましたが、

ご不明な点やお気づきの点がございましたら、下記までお知らせいただけますと幸いです。

5. 問い合わせ窓口

〒060-8638 札幌市北区北 15 条西 7 丁目

北海道大学 大学院医学研究院 細胞生理学教室

教授・大場雄介

講師・天野麻穂

連絡先 TEL: 011-706-5158

e-mail: maho.amano@med.hokudai.ac.jp